



2023年2月号

公民館共催事業 **ほんきっこ講演会 開催報告**

テーマ『狭山の未来と外遊びの関係性』～これからの社会に必要な教育と人材育成について～

昨年11月21日(月)狭山台公民館ホールにて、NPO法人本気であそび子応援団と狭山台公民館との共催で、“ほんきっこ講演会”が39名の来場者を迎えて開催された。

毎年開催されている講演会で、関戸博樹氏(どっくん)が「狭山の未来と外遊びの関係性」という演題で基調講演。外遊びの重要性を説明した後、「冒険あそび場は、サービスを提供する場ではなく、遊びの場づくりを共にしながら、いつのまにか相手の親と、子どもを自由に遊ばせることについて価値観のすり合わせができてくる。この機能をどうやったら狭山に残せるか、皆さんと一緒に考えて行きましょう」と話しかけた基調講演の後、“**やめるんだってほんきっこ!**”というショッキングなテーマでパネルディスカッションが行われた。講師 関戸博樹氏



パネラーは4名で、冒頭、塩野谷代表から3年以内の解散宣言に至った経緯(スタッフの高齢化と若返り)の話があった。パネラーから色々な意見を聞き、その後来場者が6つのグループに分かれてグループ討議。狭山の冒険あそび場をどうしたらよいかを話し合った▼グループ発表では「ほんきっこは子どもも、母親も活き活きとして子育て支援としての場でもある。若い世代と交代するのではなく幅広く間口を広げて一緒にやっていく/若い世代にSNSで発信してもらう」などの意見が出された▼ファシリテーターのどっくんが講評として今後活かして欲しいことを以下のとおり総括した
★認知度と集客：多くの親子が行きやすい場所を探す。モデルとして狭山台中央公園⇒出前で認知度を高める。他団体とコラボする(幼稚園・児童館・子ども食堂)★人材確保：欲しい人材の見える化。サポーター制度(仕事を具体化)⇒気軽に手伝えるように倉庫を公園内に★資金：市の支援を得るには、冒険遊び場・プレーパーク・子どもの遊び場を総合振興計画へ。行政課題との整合性(世代間交流/子どもの居場所/若い世代の流出を止める……)。伸びている団体のコアな実働部隊にはお金が出ている。ボランティアもいる。仕事として必要な活動には有償、支えるところは無償ときちんと線引きすることが大切。★プレーパークは大人にも遊び場。一緒に遊ぼう!楽しいよ!! 担う大人が楽しそうに遊んでいることが大切。そこからつながっていけばいい。

★有意義な講演会でした。狭山の冒険あそび場が継続していくことを願っています。

(阿部記者)



パネラー：塩野谷氏(左)・千葉氏(右)



パネラー：石川氏(左)・俣野氏(右)



グループ討議の様子

イベント

ギャラリーさやまだい 「絵手紙・消しゴム判子・版画いろいろ展」

狭山台公民館登録団体『絵手紙ひよっこの会』が活動の中で制作した様々な作品を展示しています
【期間】2月7日(火)～3月26日(日)まで 【場所】狭山台公民館1階ロビー

共催：NPO法人さやま環境市民ネットワーク・緑のトラスト狭山・堀兼公民館・狭山台公民館

シイタケのコマ打ちとシイタケ狩り

今年もシイタケ菌のコマ打ちとシイタケ狩り体験開催!

当日、コマ打ちした「ホダ木(1本)」をお持ち帰りいただけます。ご家庭で、そのまま栽培にチャレンジ!

【日時】3月12日(日)9時20分集合 9時30分開始 ※雨天中止

【場所】緑のトラスト狭山(中央の森)(集合場所：堀兼・上赤坂公園管理棟前)

【対象】小学生(4年生以下は必ず保護者同伴)

【費用】200円(天候等でシイタケ狩りができない場合は無料)

【定員】15名(事前申込・先着順) 【服装】不織布マスク着用

【持ち物】子ども用ヘルメット(大人用はこちらでご用意します)、軍手、飲み物、持ち帰り用袋

【申込】2月17日(金)9時より 堀兼公民館 TEL04-2958-4050

